

領 収 証

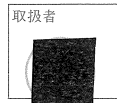
№ 029236

鈴木やすひろ 様

領収金額 ¥113,400-

上記の通り領収致しました

28年 11月 29日



株式会社 やじま印刷
〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1105
TEL (0283) 22-6428(代)
FAX (0283) 24-7247

現金	113,400	円
小切手		円
振込		円
手形		円
		円

議会より第13号印刷代として

領 収 証

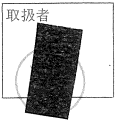
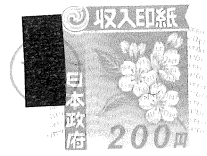
№ 029633

鈴木やすひろ 様

領収金額 ¥68,688-

上記の通り領収致しました

29年 2月 22日



株式会社 やじま印刷
〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1105
TEL (0283) 22-6428(代)
FAX (0283) 24-7247

現金	68,688	円
小切手		円
振込		円
手形		円
		円

平成29年2月8日締分として

議会報告書(14号)

平成28年度 第3回佐野市議会定例会

一般質問要旨

1. 界小学校施設整備について

(1) 老朽度調査事業の結果について

質) 界小学校の校舎(3,433㎡)の老朽度調査事業の結果と今後の対応策について聞きたい。

答) 老朽度調査を、本年6月8日から8月31日までの期間で実施。調査内容は「骨組み以外の部分と部材のうち、ベランダの床部分の鉄筋のかぶり厚さ不足による剥離の指摘」。今後の対応策は、調査結果を踏まえ教育委員会と協議を進める。

(2) 児童数の増加傾向に伴う施設整備計画について

質) 教室不足により、特別教室などを改装し普通教室として使用しているが、今後更に児童数増加が見込まれる状況にて、校舎教室の増築をどの様に考えているのか今後の計画について聞きたい。

答) 児童増加に伴う対応は、老朽度調査の結果による修繕・改修に合わせて検討する、その際に会議室や多目的スペースなどの設置も配慮する。

(3) 学童保育施設建設等で、遊具の減少や校庭の狭あい化が進むが今後の対応について

質) 校舎増築となれば尚更狭あいとなるが、隣地購入などの考えはあるのか聞きたい。

答) こどもクラブ新設で、校庭面積が617㎡減少、運動場面積は、7,110㎡で文部科学省設置基準内、敷地購入は考えていない。

2. 保育園の諸問題について

(1) 保育士不足の要因について

質) 離職の要因は、賃金や人間関係または、職場環境など様々考えられるが、その分析及び対応策を講じているのか。

答) 保育士の賃金改訂はかねてからの課題。臨時保育士にアンケートを実施した結果は、報酬額が一律であることに不満を持つ(85%)加算する場合に重点を置く業務については、経験年数64%、クラスを1人で担任する22%、障害児保育担当9%。今回の処遇改善策を策定した。

質) HPの「保育士募集」の欄に、報酬が日額で記載してある。全協の説明では、経験と職責を加味し増額するようだが、どの様な賃金体系を考えているのか聞きたい。

答) 報酬を一律日額8,700円を9,000円に引き上げ、経験年数5年以上が300円、10年以上を600円日額に加算する。職責を考慮し、3歳児単独担任を400円、障がい児保育担当を200円日額に加算する。短時間保育士は、時間990円を1,100円に引き上げをする。

(2) 入所保留児童の解消策について

質) 送迎保育ステーションシステムを導入し、集中から分散する保育を実施することで保留児童の解消が図れるのではないかと。

答) 送迎保育ステーション導入は、有効な策と考えるが、導入している市と佐野市の地理的条件や通勤方法が大きく異なる点がある。先進地の実施状況を調査する。

質) 佐野駅前交流プラザゆめぽけっとを活用し送迎保育ステーションを設置することはできないか。

答) 佐野市は、車での送迎が大半。鉄道利用者には好立地だが、駐車場の確保や車からのアクセスが不便。ゆめポケットは、一時預かりや子育て運営が主で、スペースが少ない。

(3) すこやか保育について

質) 官民連携をどの様な基準で実施しているのか、現状と課題について聞きたい。

答) 手厚い保育を必要とする児童は79名。そのうち約80%の児童は、医師の勧めにより療育支援を受けている。発育・発達をより推進するため、医師や核施設及び市の関係部署と保育園の連携が必要。

質) 発達障がい児童が増えるようなデータがあるが今後どのように対応していくのか。

答) 早期に適切な支援を受けることが重要。健康増進課などは、乳幼児健診や発達相談の実施で早期発見で対応。医師や関係部署と連携しすこやか保育を受けることで対応。

質) 保育園整備計画を変更し、すこやか保育を専門的に実施する保育園を整備運営してはどうか、考え方を聞きたい。

答) 職員は、研修・研究会の実施。利用しやすい設備をし、専門スペースも設置している。障がいのある児童と障がいのない児童が共に保育を受けられるよう配慮している。



◎詳細は、佐野市議会会議録(ホームページ)をご覧ください。
ホームページのアドレスは、<http://www.city.sano.lg.jp/gikai/>です。

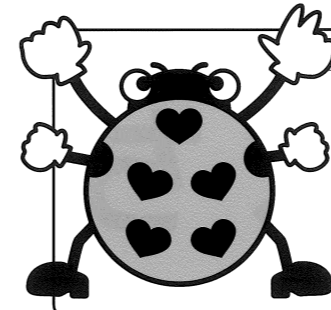
佐野市議会

検索



あとがき

延べ25日に渡る9月議会も閉会し、我々議員はそれぞれの活動へ、執行部は決算を踏まえ29年度予算編成へと本格的に突入。決算審査特別委員会提出の要望事項をよく理解して執行する側の「感情を入れず」市民サービスの向上つまり、「市民への感謝の気持ちを込めて」予算編成にあたっていただきたいと思います。納税が市民の義務であるならば、市民としてサービスを受ける権利もあります。議会も行政も納税の当然の還元として市民へのサービス向上を目指さなくてはならないはずで



発行人: 鈴木靖宏 佐野市越名町313 TEL 87-4115 FAX 24-9951

平成28年暮秋号
市議会報告
第13号

Y A S U H I R O S U Z U K I

てんとう虫通信

教訓を活かす

今年は、夏場の台風発生が少なく秋口に多く発生するであろうとの予報が的中し、台風9号を始め4つの台風が日本列島に上陸しました。台風といえば、昨年9月10日直撃(関東・東北豪雨)の台風18号が記憶に新しいところです。この時、地元越名町を流れる一級河川「三杉川 左岸堤防決壊」で越名沼干拓地が濁流に巻き込まれ、この地区の水稲がほぼ全滅状態になった事が思い起こされます。この大災害に関して、市側に「災害対策本部を設置しなかったのは何故か?」と問い合わせました。そのこともあり本年は、「災害警戒本部」が早期に立ち上げられ8月22日の大雨警報発令時には迅速な対応がなされ、越名町の一部で避難勧告が発令され、避難所が開設されました。災害対応に当たられた職員の方々に感謝申し上げます。「備えあれば憂いなし」というのは行政の要諦といえます。



第1回・第2回佐野市議会定例会 一般質問 新聞に掲載!!

2016年(平成28年)3月3日(木曜日)

佐野市議会 一般質問

健康マインレーン導入検討

新庁舎 ギオン通りを拡幅

3月2日(水) 鈴木靖宏一問一答

1. スクールソーシャルワーカーの配置について
2. 新庁舎周辺整備について

下野新聞 3月3日付より

2016年(平成28年)6月11日(土曜日)

佐野市議会 一般質問

佐野古河線の課題整理

市民と協働しまちづくり

6月10日(金) 鈴木靖宏一問一答

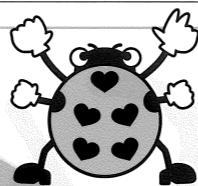
1. 電子黒板有効活用とデジタル教科書導入について
2. 新都市地区周辺の交通渋滞緩和と地域防災について

下野新聞 6月11日付より



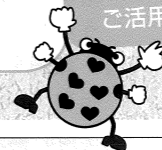
議場からひとこと

一般質問も「一括質問一括答弁方式」の他に「一問一答方式」を新たに取り入れ、いずれかの選択方式になり順調に進展している現状です。方式に慣れる慣れない以前に「常に真剣勝負」で臨まなければ、相手に失礼! 市民に失礼! と思うのは私だけでしょうか? 新しい取組に対応できる議員として活動します。



まちかど掲示板

植下町1234番地に「まちかど掲示板」を設置しています。皆さんにいつでも自由に利用していただけるように考えました。ご利用ください。掲示費用はかかりません(^o^)/



TOPICS

トピックス②

PF1法に基づく事業により佐野市水処理センター内に再生可能エネルギー発電施設が竣工しました

○消化ガス発電設備
下水処理場で発生する「消化ガス」を利用した発電で、化石燃料の節減と同時にCO₂削減に貢献できる発電方式です。発電機…5台
発電出力…最大250kW
CO₂削減量…649t/CO₂/年
売電金額…約3,100万円/年間



○太陽光発電設備
土地の有効利用を行い太陽光というクリーンエネルギーを電力に変え地球温暖化対策の一翼を担います。パネル枚数…3,616枚
発電出力…最大940kW(年間発電量…98万kW年)
CO₂削減量…399t/CO₂/年
売電金額…約6,300万円/年間



農業集落排水が変わります

○4月より、並木地区農業集落排水が公共下水道に接続になりました(工事費…約3,800万円)。当該施設は、防災備蓄倉庫に生まれ変わります(改築費…約2,000万円)。

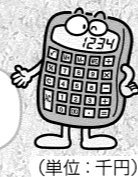
○飯田地区農業集落排水は、平成29年3月10日完成予定(工事費…約9,000万円)。供用開始は、平成29年4月1日予定。

当該施設は、地域備品等倉庫に生まれ変わります(工事費…試算中)。



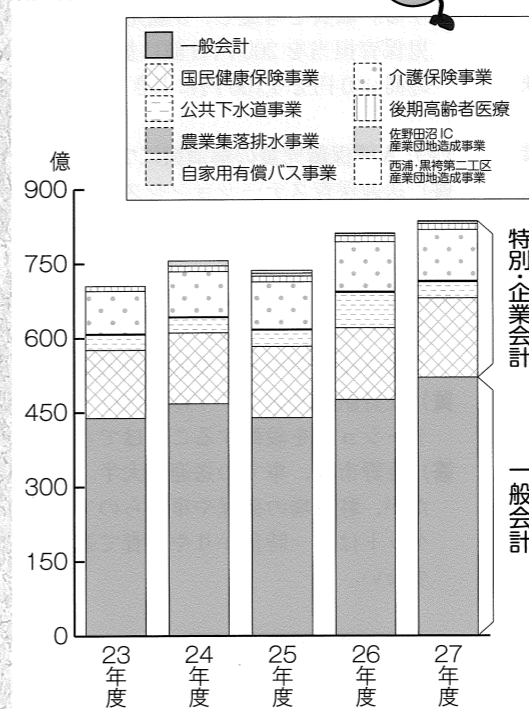
佐野市 決算 (5年間の推移)

● 一般会計及び特別・企業会計 ●



(単位:千円)

	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
一般会計	52,017,800	47,574,110	43,934,250	46,758,920	43,866,170
国民健康保険事業	16,002,580	14,470,570	14,349,050	14,315,250	13,718,760
公共下水道事業	3,205,210	7,070,620	3,288,820	3,027,050	3,074,080
農業集落排水事業	159,850	158,270	153,360	154,790	160,600
自家用有償バス事業	173,150	137,370	108,770	100,430	115,340
介護保険事業	10,221,920	9,940,850	9,478,640	9,060,220	8,574,710
後期高齢者医療	1,212,580	1,211,540	1,158,360	1,137,170	993,380
佐野田沼IC産業団地造成事業	447,100	450,510	606,050	1,043,110	0
西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業	142,780	118,520	549,950	0	0
合計	83,582,970	81,132,360	73,627,250	75,596,940	70,503,040



● 平成27年度末 地方債残高 ●

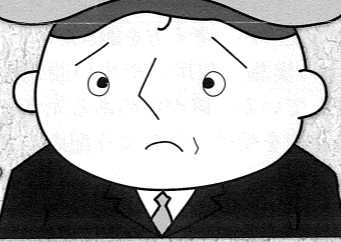
(単位:千円)

市債・企業債(借金)	
一般会計	40,950,962
国民健康保険	35,489
公共下水道	21,477,377
農業集落排水	987,077
介護サービス	101,935
佐野田沼IC産業団地造成事業	395,721
西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業	747,100
水道事業会計	9,148,592
病院事業会計	1,363,131
合計	75,207,384

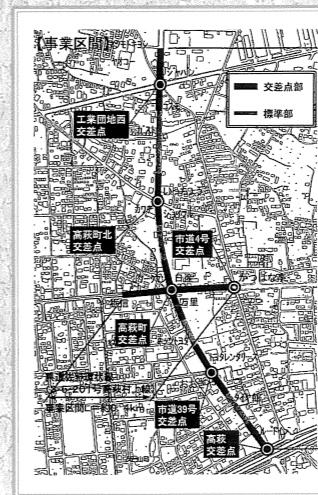
皆さん、どう思いますか?

成人一人当たり(10万人として)
一般会計: 40万9,509円
特別・企業会計: 34万2,564円
合計: 75万2,073円

佐野市の借金は
(市債・企業債)
一人当たり
約75万2,000円



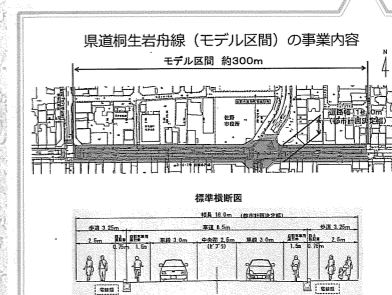
行政サービスを受けるため、納税をしている訳です。今までの国の状況や社会環境の変化もありますが、成人・市民一人ひとりが債務を担保(保証人と考えます)していることです。



市民の生活道路整備始まる!
工事中はご不便かけますが、ご協力をお願い致します

○庁舎前の県道桐生岩舟線(約300m)の工事着工になります。幅員18m、中央帯(ゼブラゾーン)、右折専用レーン・歩道整備と自転車専用レーン設置。

○東産業道路(約1,400m)と佐野環状線(約400m)の整備が始まります。6か所の交差点が改良。高萩歩道橋は撤去、50号北側に横断歩道橋新設予定。



● 決算審査特別委員会 ●

議員全員をもって構成される決算審査特別委員会が設置されました。一般会計は、2日半にわたり15名の委員が質疑を実施しました。特別会計では、2日間10名の委員が質疑を実施しました。委員それぞれの立場や考え方で多岐にわたる審査質疑でしたが、ご答弁されました担当課長他、出席されました職員の方々の評価はいかがだったのか? 自戒も含めてお聴きたいものです。我々が人を評価するように、相手も我々を評価することを忘れてはいけません…

● 佐野市民病院 民間譲渡! ●

平成28年度予算審査(特別会計)で、2018年3月末で、指定管理期間終了となることを指摘、今後の運営形態やあり方などを質疑しました。8月末には、市政審議会を開催し民間譲渡に向け審議開始(計4回開催)。市民の皆さん、結論ありきの審議会はどの様に感じますか? ご意見をお聞かせください。

佐野市民病院 民間譲渡
政策審に諮問 年内答申

佐野市民病院は、平成28年度末で指定管理期間が満了となる。今後の運営形態やあり方などをめぐり、市民の皆さんから様々なご意見が寄せられている。市は、8月末に開催した市政審議会において、民間譲渡に向けた審議を開始した。計4回の審議を経て、年内に民間譲渡の可否について答申を行う予定だ。



これからの課題と取り組み

政治は待ったなし。

市民総活躍プロジェクト



教育・子育てプロジェクト

- 教育環境と学校施設の整備
- 通学路安全対策の強化
- 35人学級の実施
- スクールソーシャルワーカーの全校配置
- スポーツ指導者の確保とスポーツゾーンの整備
- 子供の貧困対策と居場所づくり
- 地域コミュニティの活性化

農業&産業振興プロジェクト

- 若手農業者の支援強化
- 農産物のブランド化
- (公財)農業公社との連携強化
- 企業誘致戦略の推進
- 地元中小企業の成長支援強化
- ものづくり技能者の育成・支援



佐野米

安全安心と生活環境向上プロジェクト

- 災害別(火災・水災・土砂災害等)地域別危険度ハザードマップの作成
- 地区防災計画の策定
- 防災用備蓄倉庫の分散化
- 防災無線放送内容の携帯電話・スマートフォンへの配信
- 河川内の堆積物除去と管理の強化
- 狭あい道路拡幅整備促進事業の推進
- 下水道接続強化と合併浄化槽設置促進及び管理規定策定



健康福祉と高齢者支援プロジェクト

- 健康長寿の継続・発展へ向けた取組の推進
- 医療と介護の連携強化による在宅医療環境の整備
- 生活支援サービスの強化
- 地域包括ケア体制の拡充
- 認知症高齢者ケア体制の整備
- 学童保育と地域高齢者との共生



平成28年度 第4回

一般質問項目

佐野市議会

検索



2. 教育委員会について

- (1) 今後の総合教育会議のシステムについて
- (2) 教育センターの活動状況について

3. 交通指導員の現状と課題について

- (1) 通学路立哨時の交通指導について
- (2) 交通指導員の人員確保について

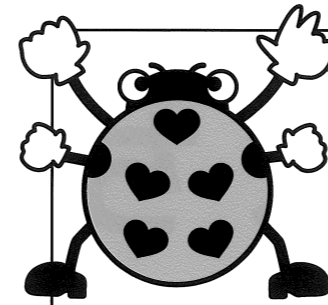
1. 文書管理条例の制定について

- (1) 文書管理の取組みについて
- (2) 条例制定の考え方について
- (3) 公文書館等設置について
- (4) 文書管理のクラウド化の推進について

◎質問事項を簡略的に掲載しました。詳細は、佐野市議会会議録(ホームページ)をご覧ください。ホームページのアドレスは、<http://www.city.sano.lg.jp/gikai/>です。

あとがき

味付けの「さしすせそ」は「砂糖・塩・酢・醤油・味噌」。会話の「さしすせそ」は、「さすがですね」「知らなかったです」「すごいですね・すてきですね」「センスがいいですね」「そうなんですか」と相手の気持ちや状況を理解し、相手から話を引き出す手、双方の距離は縮まるとのこと。しかし、対照的な言葉で会話を台無しにする「たちつと」は、「たいたしたことないですね」「違うんじゃないの」「つまらない」「適当でいいから」「とんでもない」。また、相談者の気持ちを逆なでする「まみむめも」は、「待ってくれ」「見ないと分からない」「難しいです」「面倒くさい」「もう無理です」などはないと思いますが、相手の話(言いたい内容)をよく聴き、自分で解釈(理解する)し、相手の考えを再確認し、実行する。これらの事をサイクル化して実施していただきたいものです。



発行人: 鈴木靖宏 佐野市越名町313 TEL 87-4115 FAX 24-9951

平成29年新春号
市議会報告
第14号

YASUHIRO SUZUKI

てんとう虫通信

教育は人生において、最大かつ最高の投資でなくてはならない。
子供の教育は待ったなし。だからこそ政治は待ったなし。

今議会も、19名の議員の質問がありました。今回も、職員の皆様の「質問事項の確認」等のご協力により一般質問が終了しました。地域の問題や行政問題他、教育問題等様々でした。いつも思う事ですが、子供の問題は自助努力だけで解決する事ができません。その事を良く理解し優先順位を決定していかなければ「こどものまち宣言都市」の消滅になりかねないと考えます。

活動報告

- | | |
|----|--|
| 6月 | 21日 佐野商工会議所建設部会役員との意見交換会 |
| 7月 | 24日 第40回たぬまふるさと祭り
26日 平成28年度栃木県議会県土整備委員会現地視察 |
| 8月 | 6日 第24回さの秀郷まつり
17日 佐野地区衛生施設組合議会
21日 第66回界地区体育祭
25日 佐野市国民健康保険運営協議会
27日 第29回くずう原人まつり |
| 9月 | 2日~ 佐野市議会定例会(26日まで)
10日 南中学校運動会
11日 第12回佐野市民体育祭
17日 界小学校運動会
18日 第19回佐野の越名舟唄全国大会 |

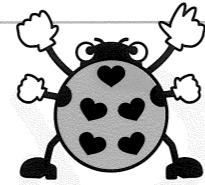


- | | |
|-----|---|
| 10月 | 1日 界地区敬老会
2日 佐野市総合防災訓練
8日 田中正造の日 環境フェスタ
16日 第54回菊花将棋大会
16日 藤田神社「秋季例大祭」
19日 国民健康保険運営協議会委員研修会
21日 南中学校 櫛祭
23日 2016佐野市ふれあいフェスティバル |
| 11月 | 6日 どもんなかフェスタ佐野2016
13日 第12回佐野市民駅伝競走大会
23日 藤田神社「感謝祭」
23日 葛生行政センター落成式 |
| 12月 | 2日~ 佐野市議会定例会(16日まで)
10日 佐野市男女共同参画都市宣言記念式典
11日 「失業者村」もちつき大会
11日 第12回さのマラソン大会 |



議場からひとこと

いつの間にか、議会傍聴の際の受付簿が、個別用紙記入になっていました。理由があつての改革であるならば、その理由を共有し改革しなければならない。蚊帳の外におかれては、人は反発するのではないかと。皆さんがその立場にある時はどの様に対応しますか…



まちかど掲示板

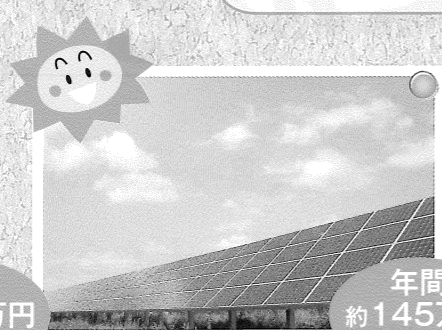
植下町1234番地に「まちかど掲示板」を設置しています。皆さんにいつでも自由に利用していただけるように考えました。ご活用ください。掲示費用はかかりません(^o^)/v



庁舎7階に設置

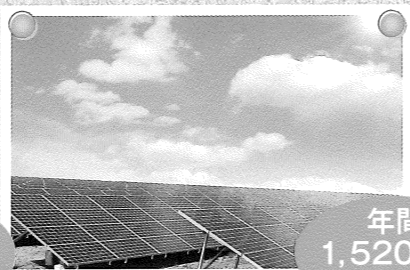
年間
約220万円
確保

自主財源の確保 第一弾
市有施設内に設置の飲料等自動販売機を「スペース貸」から販売手数料方式（一般競争入札方式）に変更し、手数料の増収へ。



年間
約145万円
確保

自主財源の確保 第二弾
公共施設（学校等）に太陽光発電システムを設置し、公共施設の使用料として新たな税収確保。



年間
1,520万円
確保

自主財源の確保 第三弾
財産活用課（旧財産管理課）と連携し、不燃物埋立場に太陽光発電システムを設置し、使用料（一般競争入札）として新たな財源確保。

地域防災計画の見直し

平成27年の台風18号の被害で、災害対策本部を設置しなかった状況を指摘。地域防災計画を見直し、災害警戒本部の新設やタイムライン（被害の発生を前提とした防災）等を導入。防災・減災に繋がった。



界小学校に建設中



学童保育6年生まで受入へ
小学校3年生までの受入を6年生まで受け入れられるよう署名活動を実施。夏期休業期間に限り4年生まで受入。その後国の方針で6年生までの受入となり、各学校で順次施設新設中。

で受け入れられるよう署名活動を実施。夏期休業期間に限り4年生まで受入。その後国の方針で6年生までの受入となり、各学校で順次施設新設中。

住民税徴収率向上へ

税収の確保で、安定した市政運営ができる事を前提に、住民税の特別徴収制度を活用。（10人以上雇用の企業は特別徴収は義務）法人個人を問わず従業員を雇用している場合、特別徴収（給料からの天引き）を実施すべきと決算審査で指摘。交渉の結果、当時の収納課長が県との交渉で全県下をあげ実施中。

納付方法別収納等状況

税目	25年度		27年度	
	収入額(円)	割合(%)	収入額(円)	割合(%)
市民税	5,386,266,934		5,142,510,142	
□座振替	585,615,415	10.87	369,595,464	7.19
コンビニ	332,119,834	6.17	257,270,033	5.00
金融機関窓口	752,564,092	13.97	419,545,158	8.16
給与特徴	3,508,636,899	65.14	3,886,155,849	75.57
年金特徴	207,330,694	3.85	209,943,638	4.08

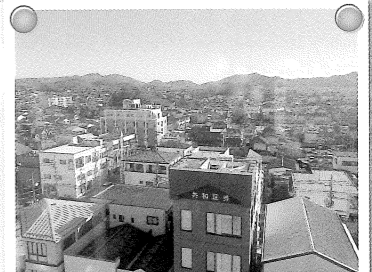
佐野市独自のスクールソーシャルワーカー(専門スタッフ)配置

全国的にもまれな常駐型であり問題等にすぐ対応することができる環境を推進。(スクールソーシャルワーカーとは、子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所と連携したり、教員を支援したりする福祉の専門家。)

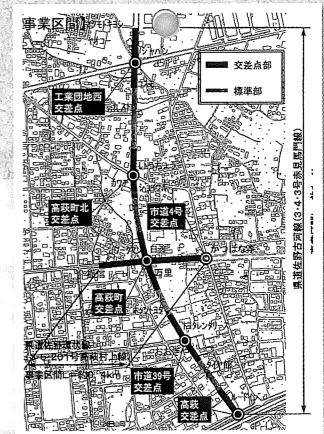


庁舎周辺道路網整備事業

庁舎北側の東西に走る市道57号線(通称:ギオン通り)の東方面約170mを拡幅整備決定。大正通りの一方通行解除やギオン通りの江戸街道(本町赤見線)までの約110mの整備要望中。来庁しやすい道路整備と生活しやすい道路網整備を推進中。



庁舎7階より周辺道路を望む

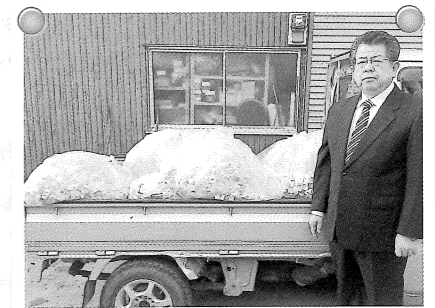


新都市地区周辺の交通渋滞緩和対策

通称)東産業道路は、工業団地西交差点で2車線から1車線へ絞られ、交通事故や渋滞の原因になっている。4か所の交差点改良や横断歩道橋の移設など県が計画。合わせて、市道整備関係や雨水対策なども検討課題としている。

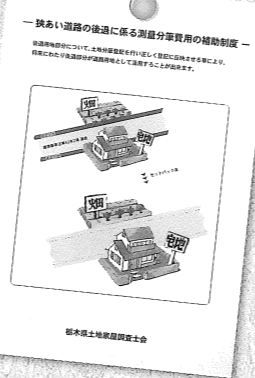
エコキャップ回収推進運動展開中

後援会組織立上時に、身体障がい者の方からエコキャップを集めていることをお聞きし、現在に至るまで収集協力をお願いしております。“エコキャップ860個でワクチン1人分の寄付ができる”とのことで、1回目2回目の回収品はその方経由。3回目以降は、佐野市社会福祉協議会経由。今回は、業者回収で直接推進協議会へ提供予定。



狭あい道路の解消と安全安心の道路幅員確保

建築基準法第42条第2項の道路(道路幅員4m未満)を4mの基準値にするため測量費の一部(上限30万円)を補助する規定を制定。緊急車両等もスムーズに通行でき、安全と安心の確保、用地買収するより費用の削減ができる。また、土地所有区分の明確化ができる。

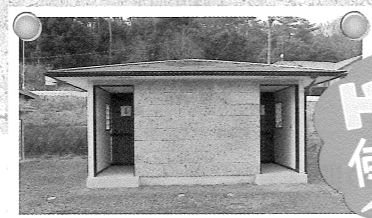


iPadとiPhoneの連携も可



議会のICT化で経費削減

iPadの導入により、事務局と議員間のやり取りが瞬時にでき、しかも記録に残すことができる。これにより、ペーパーレス化と通信費の削減ができた。スムーズな議会運営に寄与している。



スポーツ施設の環境整備

田沼運動場内のトイレを汲取り方式から水洗化へ建てかえ。安心してスポーツに親しむことができた。(田沼西運動場も同様)